



不可能への挑戦

株式会社日昇テクノロジー

低価格、高品質が不可能？

日昇テクノロジーなら可能にする

# MSP430 USB エミュレーター 簡易マニュアル

株式会社日昇テクノロジー

<http://www.csun.co.jp>

info@csun.co.jp

2010/8/23



[copyright@2010](http://www.csun.co.jp)



## 修正履歴

NO	バージョン	修正内容	修正日
1	Ver1.0	新規作成	2010/8/23

※ この文書の情報は、文書を改善するため、事前の通知なく変更されることがあります。最新版は弊社ホームページからご参照ください。

[「http://www.csun.co.jp」](http://www.csun.co.jp)

※ (株)日昇テクノロジーの書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

※ Androidに関わるリソースはご参考までの実験レベルで確認済みのものですので、サポートは提供していません。



---

機能概要 .....	4
第一章 ドライバーのインストール .....	5
第二章 IARの設定 .....	10



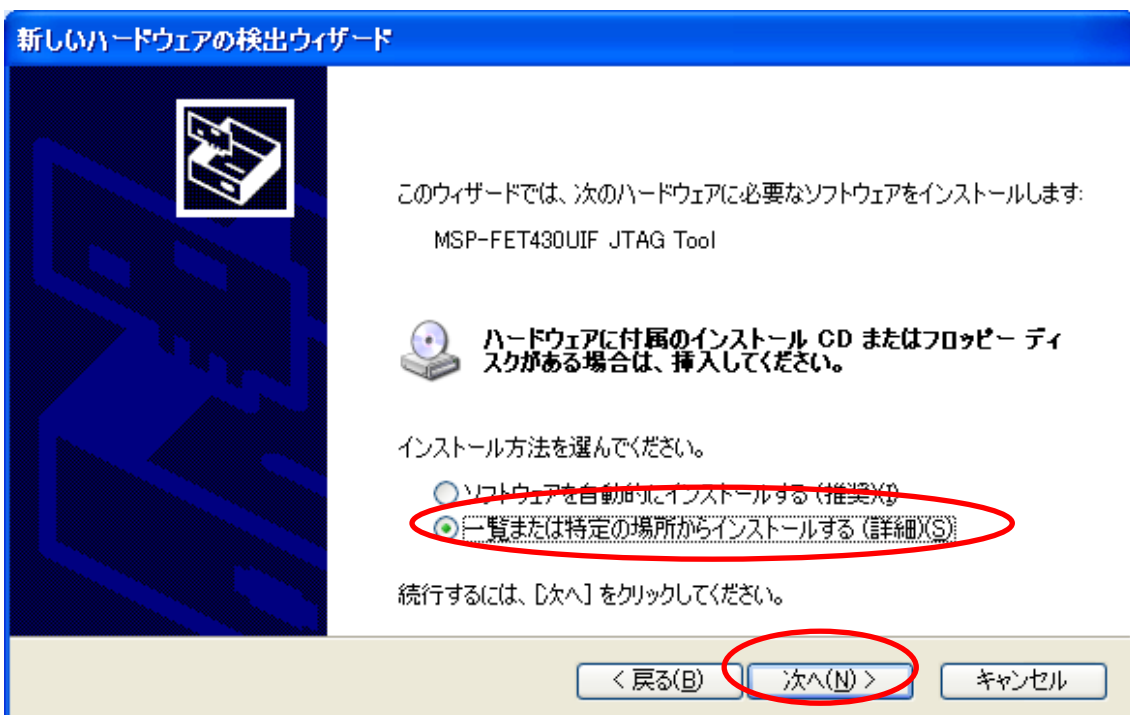
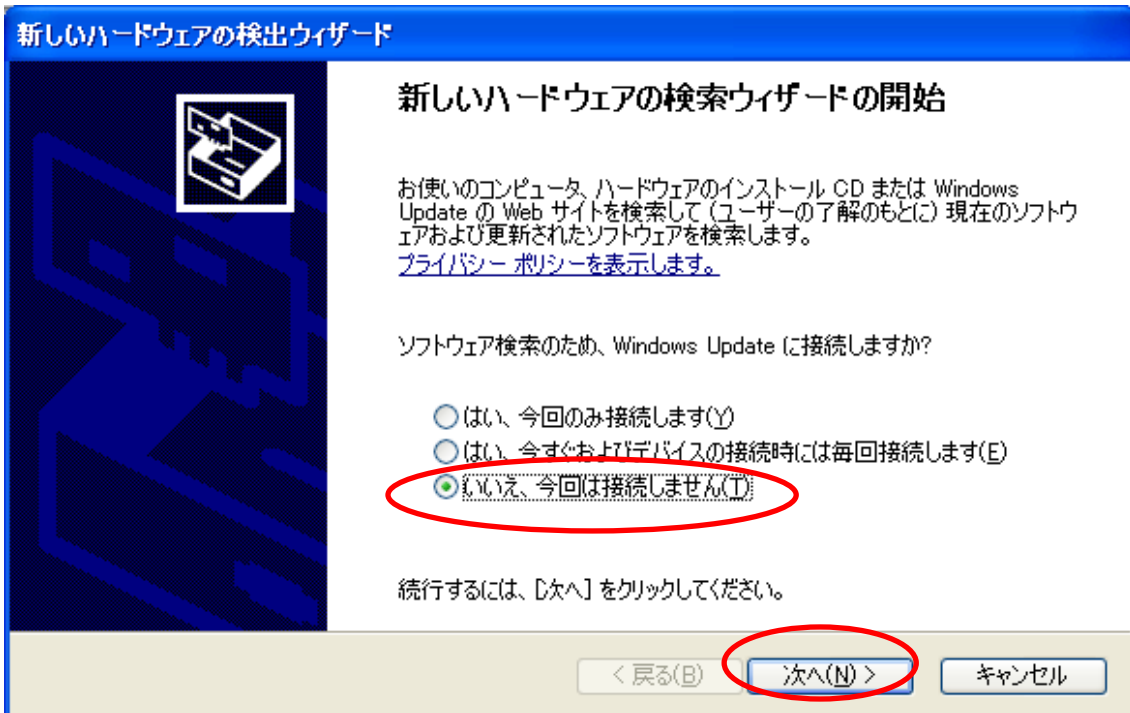
## 機能概要

- 1、USB インタフェースの JTAG エミュレーター
- 2、USBで給電、外部電源要らない。またターゲットボードに3.3v (300mA) 電源を供給できる
- 3、MSP430FLASH全シリーズマイコンのオンラインエミュレーターをサポートする
- 4、TI社のMSP-FET430UIF開発ツールと完全交換機能
- 5、TI社製品と共通の標準インタフェース2×7PIN(IDC-14)
- 6、IAR430、AQ430、HI-TECH、GCC、TI社第三社のIDE環境のリアルタイムのシミュレーション、デバッグ、ステップ実行、ブレークポイントの設置、メモリの内容の改正などをサポートする
- 7、JTAG、SBW (2 Wire JTAG) インタフェースをサポートする
- 8、ファームウェアアップデート機能をサポートする
- 9、外形寸法：8.5 x 5(cm)

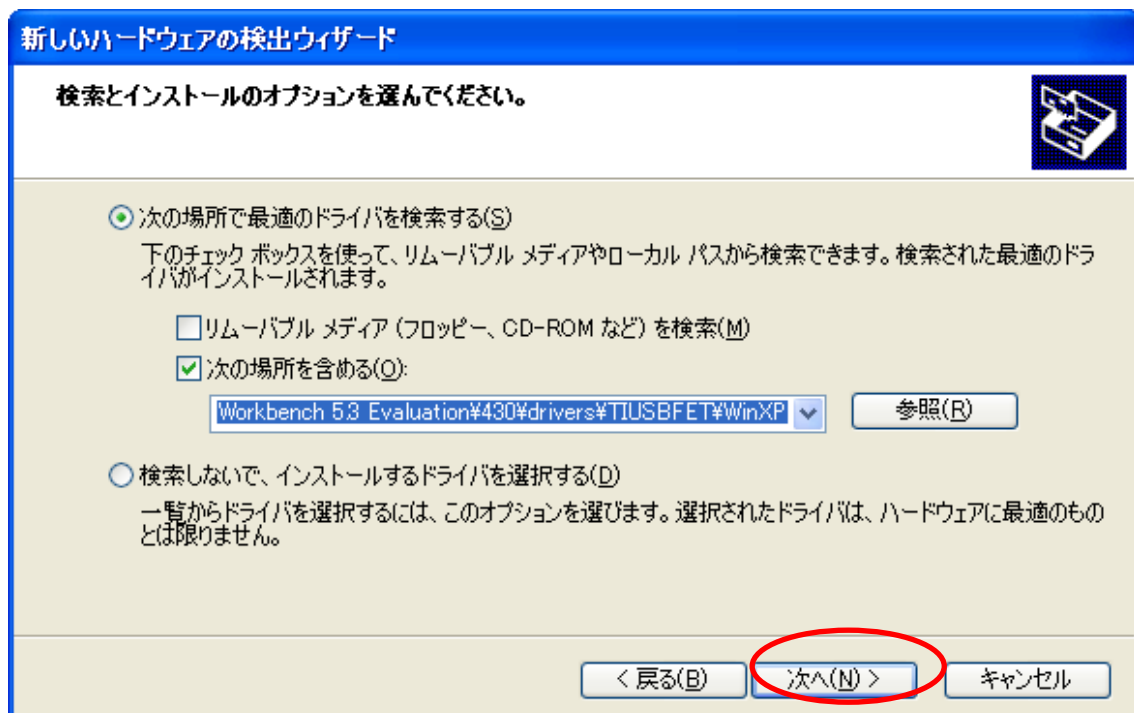
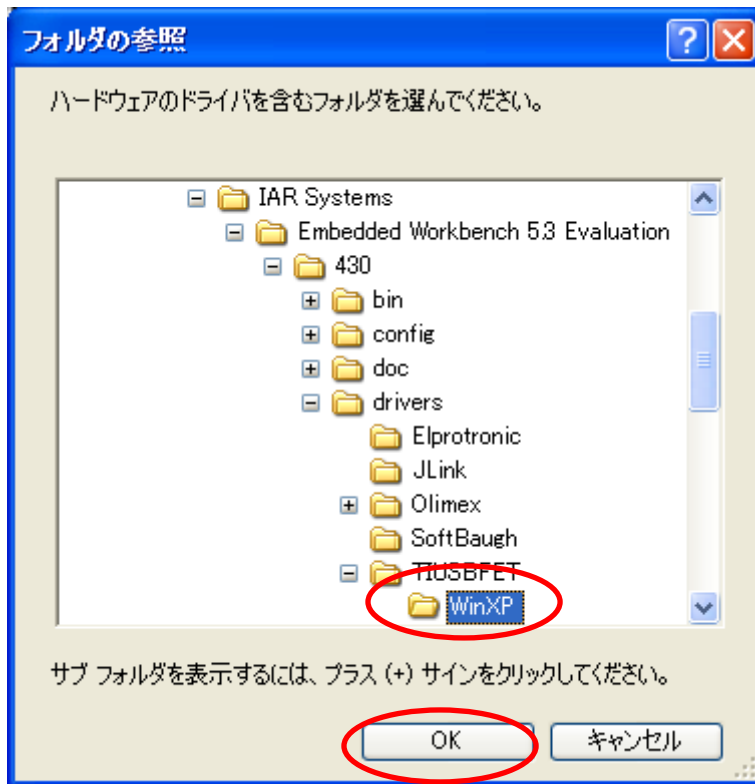
## 第一章 ドライバーのインストール

1、USB ケーブルでエミュレーターと PC を接続する

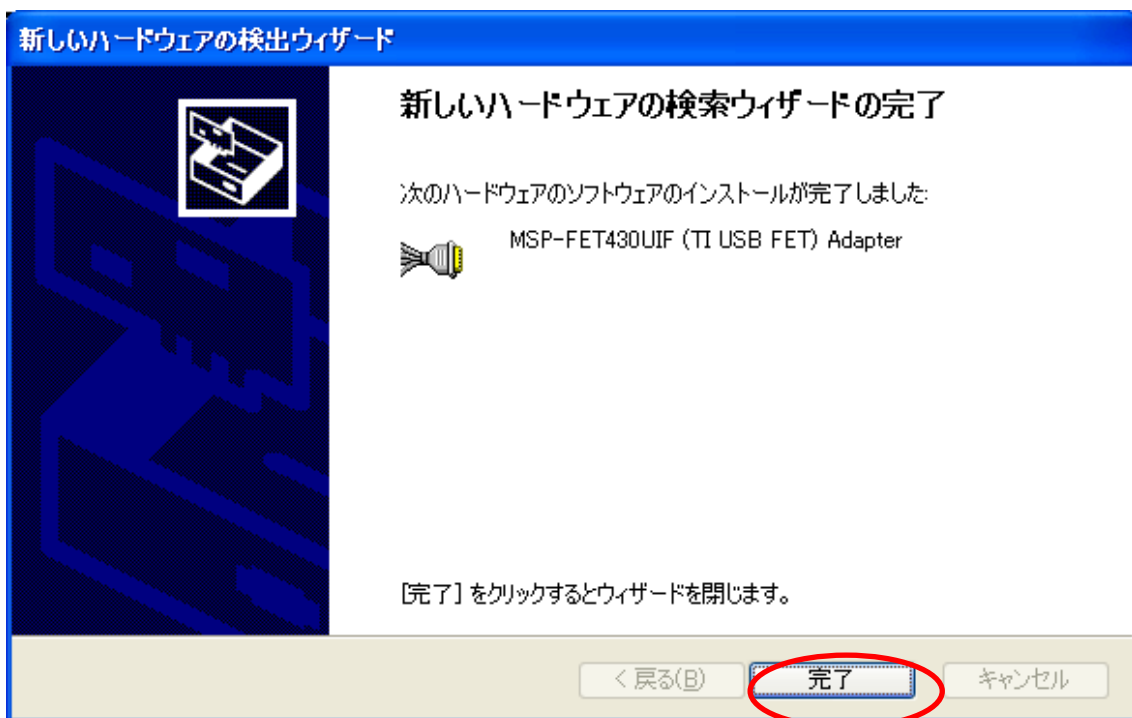
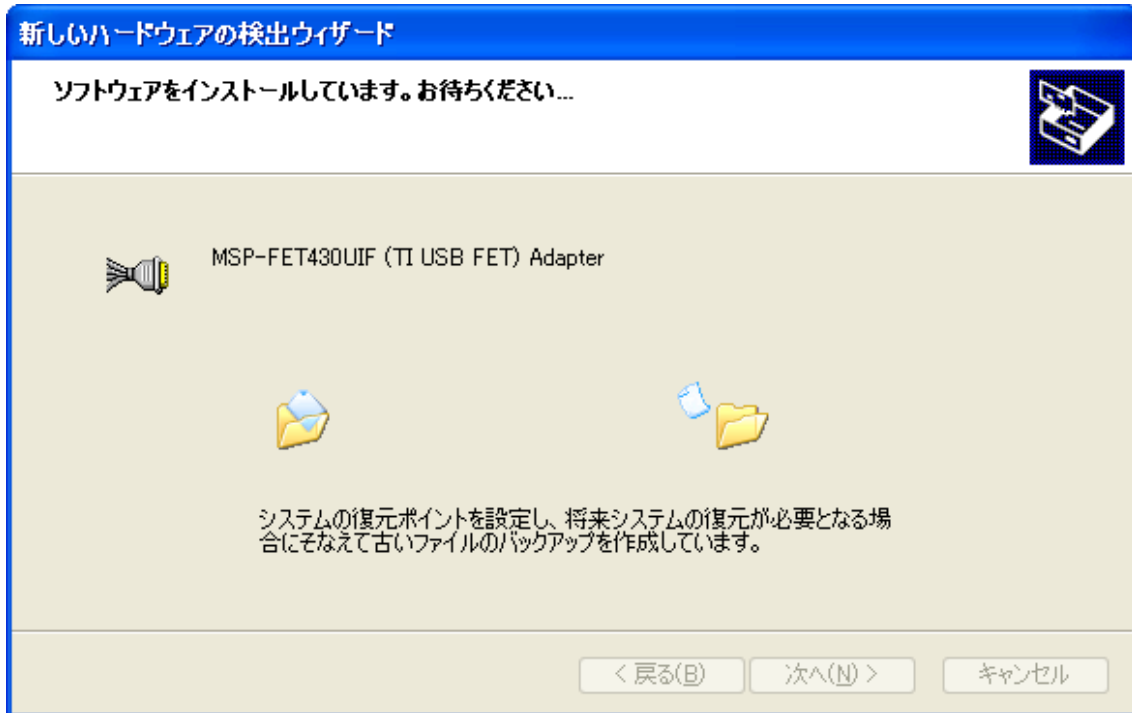
新しいハードウェアが発見される。



IAR Embedded Workbench for MSP430 をインストールしたフォルダにある 430/drivers/TIUSBFET/winxp を指定する。



インストール中の画面：



完了押して、これで半分完成。

続いてシリアルポート関係のインストールを行う。

上記手順をもう一度繰り返す。

## 新しいハードウェアの検出ウィザード



このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします:

MSP-FET430UIF - Serial Port



ハードウェアに付属のインストール CD またはフロッピー ディスクがある場合は、挿入してください。

インストール方法を選んでください。

- ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)(A)
- 一覧または特定の場所からインストールする (詳細)(S)

続行するには、[次へ] をクリックしてください。

< 戻る(B)

次へ(N) >

キャンセル

## 新しいハードウェアの検出ウィザード

検索とインストールのオプションを選んでください。



- 次の場所で最適なドライバを検索する(S)

下のチェック ボックスを使って、リムーバブル メディアやローカル パスから検索できます。検索された最適なドライバがインストールされます。

リムーバブル メディア (フロッピー、CD-ROM など) を検索(M)

次の場所を含める(O):

D:\embedded\IAR Systems\Embedded Workbench 5.3 Ev2

参照(B)

- 検索しないで、インストールするドライバを選択する(D)

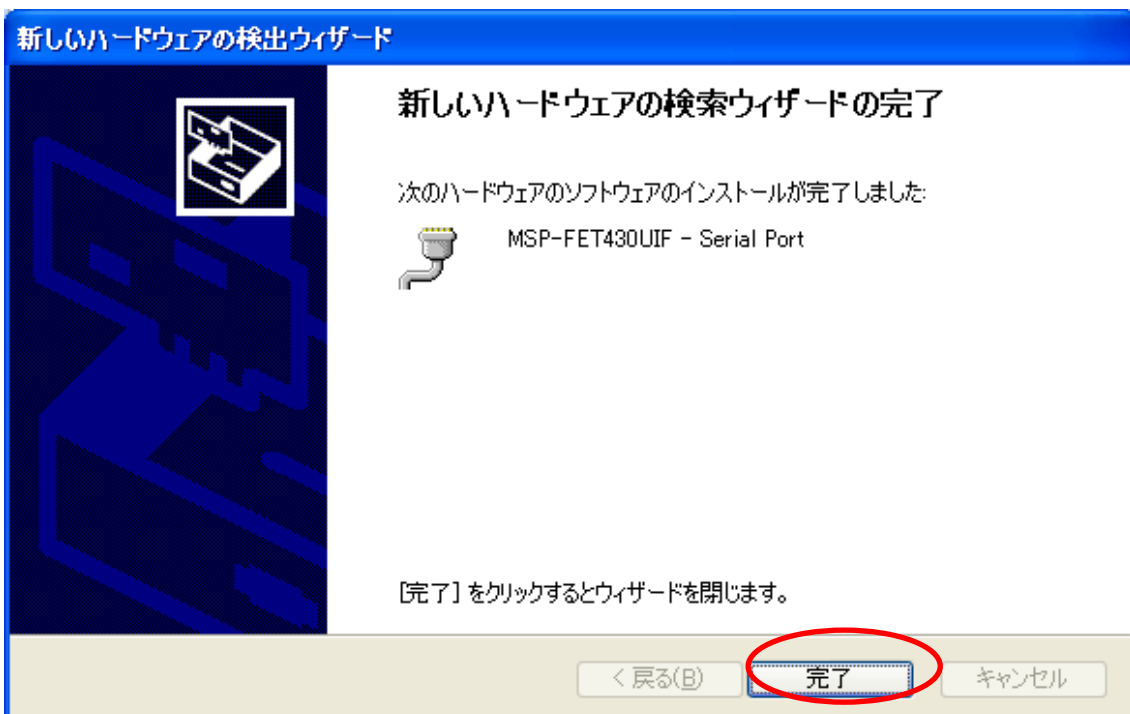
一覧からドライバを選択するには、このオプションを選びます。選択されたドライバは、ハードウェアに最適なものとは限りません。

< 戻る(B)

次へ(N) >

キャンセル





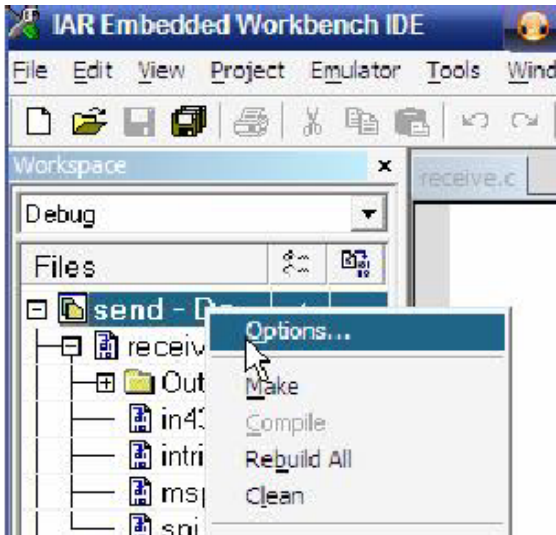
デバイスマネージャを確認すると、下記内容が増えている。

ポート (COM と LPT)  
MSP-FET430UIF - Serial Port (COM3)

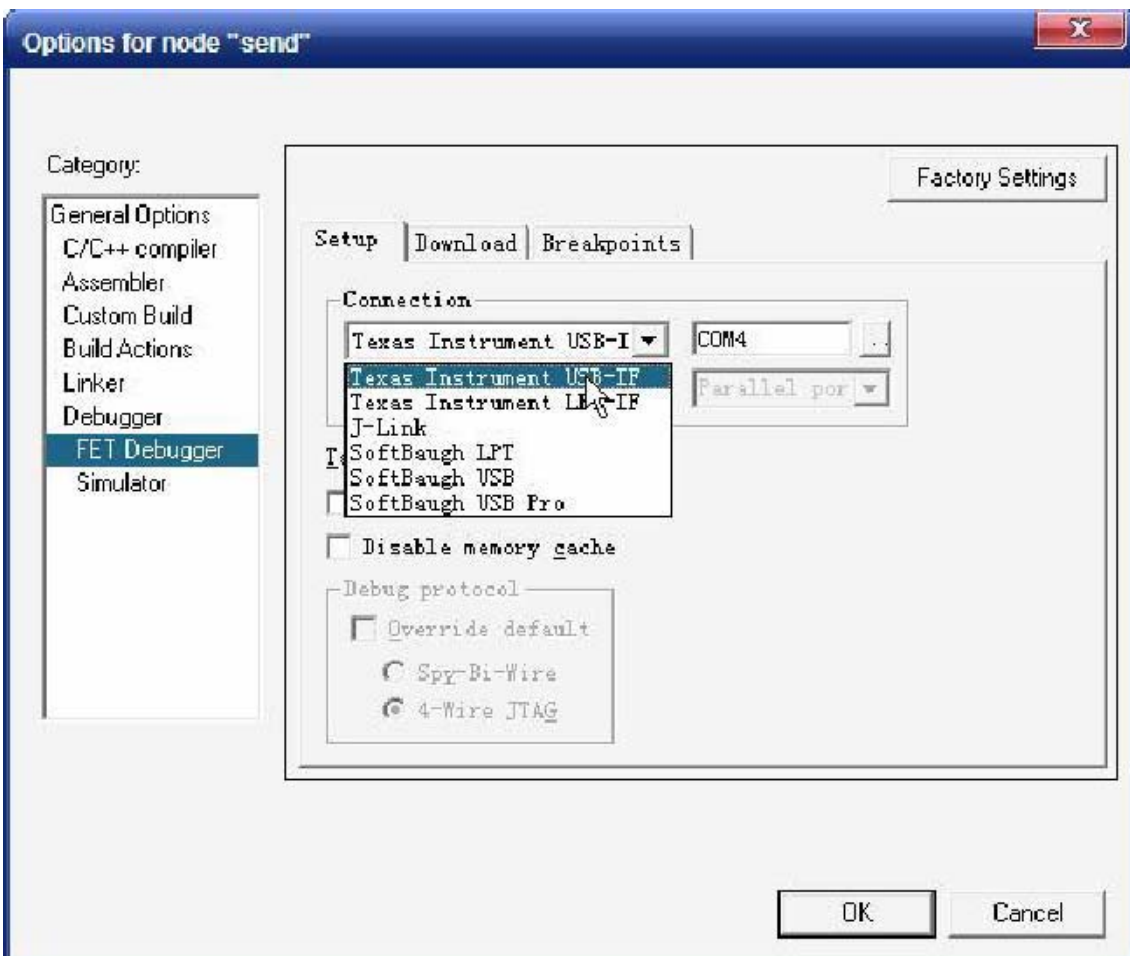
※COM 番号は具体的な環境によって違います。必ず COM3 ではありません。

## 第二章 IARの設定

1、プロジェクト名で右クリックして Options を選択する。



2、デバッグ設備を設定する。





注意事項：

IAR3.21バージョン以上をサポートする。

エミュレーターとソフト環境の操作順序：ソフト環境を閉じて完全に終了した後エミュレーターを抜き出す。ソフト環境動作中にエミュレーターを抜き出す場合、エラーになる恐れがあります。この場合、IAR環境を強制的に終了して再度エミュレーターを接続し、IARを再起動してください。これでも動作しない場合はPCを再起動して再度お試しください。

以上